

情熱を燃やせ

2017年度スローガン

『情熱を燃やせ』 ～「しあわせ」を共有できる仲間と共に～

～「しあわせ」を共有できる仲間と共に～

第26回 わんぱく相撲 備後国府場所 & 全国大会

6月18日(日)に府中市立南小学校屋外土俵にて快晴の中、わんぱく相撲が開催されました。

今年は新たにふちゅう学校親善大相撲大会(団体戦)も開催しました。22チームが参加し、保護者や同じ学校の子供たちからの大きな声援が飛び交う中、仲間のためにチーム一丸で試合に取り組む真剣な表情をみることが出来ました。貴重な経験になったと思います。

「負けて悔しかったけど、友達と出れて楽しかった」
「自分は負けたけど、友達が勝ってくれて優勝できて嬉しい」
など、仲間の大切さや友達との絆がより一層深まった大会になったと思います。

わんぱく相撲(個人戦)では、相撲を通じて勝つことの喜びや負けることの悔しさ、最後まで諦めないことの大切さ、相手を敬い思いやる気持ちを感じてもらえた試合となりました。今年は個人戦、団体戦合わせて110名の参加となり非常に盛り上がった大会となりました。

朝早くからの設営となり、メンバーの皆様には感謝しております。ありがとうございました。

7/29.30と東京両国国技館で行われました、わんぱく相撲全国大会に行ってきました。全国大会大会に出場する子ども達は、学校の仲間や友達に応援のメッセージをもらって試合に望みました。4年生、5年生の子は残念ながら初戦敗退でしたが、本当に紙一重の試合でした。6年生の子は、3回戦まで勝ち上がりました。見事全国ベスト32でした！

子ども達にとって、この経験はこれからの学校生活やクラブ活動などさまざまな所で必ず生きてくると思います。

最後になりますが、この事業を行う上でメンバーはじめ沢山の方々の協力の元に無事終わることができました。

本当にありがとうございました♪

はばたけ！未来の英雄委員会委員長 松本拓也



備後国府まつり

2017年度備後国府祭りは「楽しさをシェアできる祭り」をテーマに企画・設営に取り組んで参りました。祭りは1人でも楽しめますが、よりこの楽しさを倍増させる大きな要因を考えたときに自身が感じる楽しさ、これを同じ空間にいる人たちと共有することが出来れば、その楽しいという想いが膨らんでいくと思いこのテーマをつけました。

今回の備後国府祭りは友人・家族・恋人といったグループでの来場者が多かったと感じています。祭りという非日常的な雰囲気の中、多くの方が楽しいという想いを共有できたのではないのでしょうか。祭り当日多くの方が「普段、こんなに人いないのにどこからこんなに人がきてるの？」という声を多く耳にしました。本当に多くの方に来場して頂き感謝しております。

特に昨年と比較すると10代～20代といった若者が非常に増えていたと感じています。本年はいかに若者を呼び込みまつりを盛り上げるかというの大きなテーマにしていたので、多くの若者に来場して頂いたのは大変うれしく思います。この多くの若者の想いが祭り全体の熱気への繋がったと思います。若者を呼び込むために注力したのはステージイベントと泡祭です。ステージイベントにおいてはステージ前に多くの人がつめかけ、最後のライブでは全員がXジャンプをしていました。これはまさに楽しさが共有できた瞬間だと感じました。泡祭においてもステージ前や、入り口で泡まみれになりながら、多くの方が楽しさを共有できていたと思います。私自身も泡まみれになる体験は今回が初めてでしたが、あんなにも楽しいとは思いませんでした。今回のまつりは私自身が誰よりも楽しんだように感じます。

最後になりますが、今回の祭りは多くの人たちの協力があったからこそ実現できた祭りとなりました。改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

備後国府祭りは来年、再来年と続いていきますが、さらに盛り上がる事を期待しています

まつりBUBBLY委員会 委員長 磯田一郎



6月担当例会

6月の例会においてキャット&チョコレートを使った担当例会を開催いたしました。キャット&チョコレートとは直観力と合理性を使って、目の前の問題に対して他の人が納得する問題解決方法を瞬時に考えるゲームです。

プレゼン、会議等で想定外の質問を受けたとき、とっさに機転の利いたことを言えるかどうかを訓練することは日常において非常に役に立つことですが、そのような場を提供できればと思います、開催いたしました。最初はグループ単位でゲームを行っていただきましたが、最後は選ばれた5名が全メンバーを前に、自分が瞬時に思い付いた解決方法を発表するスタイルでおこないました。5名の代表者は人前というプレッシャーの中で時には面白おかしく、時には頭をかしげる珍解答をしていただき、他人の解答をみて「そんな考え方があるんだ」と思っていただけだと思います。発想も十人十色でそれぞれの個性を表す内容であったように思いました。久しぶりの担当例会ということで妙な緊張感と「委員長ってやっぱり大変だな」と改めて感じさせていただきました。しかし、終えた後の安堵感が妙に心地よく感じることができました。最後に多くのメンバーにご参加いただけましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

専務理事 櫻木正彦



会員育成事業

8月7日に会員育成事業を（株）YPYエデュケーションより土居先生をお招きして、類人猿分類について行いました。類人猿分類は各種メディアにも取り上げられた、性格分類の一種です。自分と他人の考え方の違いを理解し、自分の弱さを克服し、強みを活かして、チームワークの向上に役立てていただきたいと考え開催させていただきました。人と自分は違うと理解はしていても、どうしても自分の価値観で判断してしまいます。類人猿分類で分けられた各タイプは、どういったところが心に響く価値観を持っています。タイプの違いを知ることで、お互いの意見を尊重しあい、目的を目指すことが出来るのかを学ぶことが出来たと思います。

土居先生には、軽妙な語り口で、類人猿分類の体験談や導入事例を披露していただきました。グループワークでは参加者の笑顔も見られ、ただ話を聞くだけでなく、楽しんでセミナーを受けていただくことが出来ました。この場をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、平日という中、また台風が来ているにもかかわらず、多くのメンバーに参加いただくことが出来ました。

ありがとうございました。本事業の内容は、JCの事業だけでなく、自社に持ち帰っていただいてもご活用いただくことが出来ます。採用活動やチームのモチベーションアップ、会議の進め方など人と人との交わりがある場で活かしてってください。

総務委員会 委員長 田邊貴慶



JC News No. 507 (2017年8月8日発行)

発行人 一般社団法人 府中青年会議所

〒726-0003 広島県府中市元町 445-1

府中商工会議所 2F

TEL 0847-45-2648 FAX 0847-45-2984

メール fuchujc@fuchu.or.jp

ホームページ URL (※2016年より変更)

<http://www.fuchujc.com>

編集後記

JC News No. 507の発行にあたり、ご協力いただきましたこと。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。次回のJC Newsでは本年度の卒業生に直撃インタビューを敢行いたします。4人の熱い気持ち、JCメンバーに伝えたいことが聞けると思います。ぜひ次回のJCニュースもお見逃しなく！